

■紀要 創刊号 (2007 年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	中山浩彦	比企における弥生～古墳時代前期の集落の立地について	pp.1-10	○
02	若松良一	「古墳壁画の狩猟図について」	pp.11-20	○
03	昼間孝次	「吉見百穴をめぐる人々 特別展『吉見の百穴と東日本の横穴墓』によせて」	pp.21-30	○
04	井上尚明	「さきたまの津を探る」	pp.31-42	○
05	浅野春樹	「『寄り合い』の開催について」	pp.43-54	○
06	君島勝秀	「企画展『武蔵武士と寺院』記念講演会・シンポジウムのアンケート結果について」	pp.55-58	○
07	宮 昌之	「埼玉の大型古墳一覧 (1)」	pp.59-64	○
08	梅沢太久夫	「松山城主上田氏の系譜と比企郡進出について」	pp.72-65	○

■紀要 第 2 号 (2008 年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	石坂俊郎	「中耕・広面遺跡墳墓群と供献土器 (1)」	pp.1-16	○
02	杉崎茂樹	「稻荷山古墳出土土器の器種構成と出土位置に関連して」	pp.17-32	○
03	梅沢太久夫	「歴史的環境保全調査から 28 年—比企城館跡群の国指定史跡化へのあゆみ—」	pp.33-36	○
04	赤熊浩一	「古墳時代の動物遺存体と交易」	pp.37-43	○
05	山川守男	「埼玉古墳群と馬」	pp.44-47	
06	新屋雅明	「縄文時代の動物を考古学する」	pp.48-51	○
07	若松良一	「古墳壁画に描かれた他界」	pp.52-61	○
08	西本豊弘	「原始・古代の豚と猪」	pp.62-67	
09	宮代英一	「古墳時代の馬具と馬」	pp.68-78	○
10	井上尚明	「史跡整備研修会の開催について」	pp.79-84	○
11	井上尚明	「中国トルファン地区博物館における展示協力について—自治体国際協力専門家派遣事業に参加して—」	pp.85-96	○
12	若松良一	「中世名族の末流 忍藩土畠山氏研究 (一) —新発見の畠山系図とその検討—」	pp.130-97	○

■紀要 第3号 (2009年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	西口正純	「埼玉古墳群周辺の範囲確認調査」	pp.1-6	○
02	井上尚明	「二子山古墳の内堀護岸整備について」	pp.7-14	○
03	村田章人 杉崎茂樹	「テーマ展『考古学が解く食と技』、『考古学で学ぶ動物とのかかわり』を振り返って—企画展示室の改修とこれまで2回実施したテーマ展示の概要について—」	pp.15-42	○
04	市川 修	「熊谷市西城切通遺跡の土器と土偶—前原儀久氏採集資料—」	pp.43-56	○
05	石坂俊郎	「中耕・広面遺跡墳墓群と供献土器 (2)」	pp.57-72	○
06	君島勝秀	「後北条氏の城とは何か—企画展及び関連普及事業の取り組みから—」	pp.73-80	○
07	若松良一	「中世名族の末流 忍藩土畠山氏研究 (二) —松平下総守家臣としての勤書とその検討—」	pp.100-81	○

■紀要 第4号 (2010年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	中村倉司	「埼玉丸墓山古墳と大里甲山古墳—武蔵国造家内紛と大型円墳—」	pp.1-17	○
02	堀内紀明	「コラム さきたま思い出写真館①」	p.18	○
03	利根川章彦	「サキタマ王権論へのプレリュード—埼玉稻荷山古墳と高崎市八幡観音塚古墳の関係性をめぐって—」	pp.19-31	○
04	堀内紀明	「コラム さきたま思い出写真館②」	p.32	○
05	西口正純 佐藤康二	「埼玉古墳群周辺の範囲確認調査」	pp.33-40	○
06	佐藤源之 渡邊学 井上尚明	「奥の山古墳の地中レーダー探査実験について」	pp.41-49	○
07	堀内紀明	「コラム さきたま思い出写真館③」	p.50	○
08	井上尚明	「史跡整備と考古学 I—埼玉古墳群の整備が目指すもの—」	pp.51-60	○
09	栗島義明	「財貨としての『儀礼的交換用石斧』—ニューギニア島ダニ族の Je Stones について—」	pp.61-84	○
10	加藤光男	「出土板碑からみた製作工程の復元」	pp.85-98	○
11	栗岡真理子	「埼玉県内における宝篋印塔・五輪塔の特徴と分布域」	pp.99-110	○
12	若松良一	「平成二十一年度企画展『秩父平氏 畠山重忠とその時代』の試みについて」	pp.126-111	○

■紀要 第5号 (2011年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	鈴木敏昭	『土器にみる縄文人の思考』を考える	pp.1-25	○
02	中村倉司	「コラム1 「さきたま」の地名由来」	p.26	○
03	中村倉司	「縄文時代の屋内調理と貯蔵穴—埋甕炉そして埋甕とCピットの用途—」	pp.27-56	○
04	城倉正祥	「埼玉古墳群の埴輪編年」	pp.57-91	○
05	中村倉司	「コラム2 埼玉古墳群の墓主」	p.92	○
06	栗島義明	「緑泥片岩を用いた横穴式石室の構築—緑泥片岩の来歴と石室構築技術について—」	pp.93-114	○
07	佐藤康二	「平成21年度 埼玉古墳群周辺の確認調査報告」	pp.115-122	○
08	佐藤源之 横田裕也 西口正純 末木啓介	「鉄砲山古墳の地中レーダ探査実験について」	pp.123-130	○
09	野中仁 田中英二	「国宝金錯銘鉄剣の貸出と最新分析」	pp.131-138	○
10	井上尚明	「史跡整備と考古学Ⅱ」	pp.139-148	○
11	中村倉司	「コラム3 埼玉古墳群を支える地域」	pp.149-150	○
12	加藤光男	「板碑造立過程の検証」	pp.151-162	○

■紀要 第6号 (2012年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	栗島義明	「緑泥片岩製石棒に見る需給システム—縄文時代後晩期の石棒製品の生産と広域流通—」	pp.1-24	○
02	近江 哲	「縄文時代前期の搬入土器—埼玉県内における北白川下層式—」	pp.25-44	○
03	利根川章彦	『埼玉の古墳出現』断章	pp.45-52	○
04	関 義則	「埼玉古墳群の構成原理」	pp.53-94	○
05	中村倉司	「装飾馬具は下賜品か—『威信財説』への疑義—」	pp.95-120	○
06	佐藤康二	「平成22年度 埼玉古墳群周辺確認調査の報告—埼玉8・9・10号墳の確認調査—」	pp.121-132	○
07	西口正純	「さきたま講座のアンケート分析」	pp.133-138	○
08	関 義則	「《追悼》さきたま風土記の丘整備事業と柳田敏司氏」	pp.139-142	○

■紀要 第7号 (2013年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	岩田明広	「妻沼低地・荒川低地の水稻農耕と生活環境思考の変遷」	pp.1-36	○
02	関 義則	「埼玉古墳群の構造変遷」	pp.37-64	○
03	君島勝秀	「赤城遺跡出土中空みみずく土偶の修復」	pp.65-74	○
04	佐藤康二	「平成 23 年度 埼玉古墳群周辺確認調査の報告—若王子古墳の確認調査 (1) —」	pp.75-84	○

■紀要 第8号 (2014年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	岩田明広	「平成 24 年度 埼玉古墳群周辺確認調査の報告—若王子古墳の確認調査 (2) —」	pp.1-18	○
02	堀口智彦	「平成 25 年度 埼玉古墳群範囲確認調査の報告」	pp.19-34	○
03	佐藤康二	「二子山古墳の再整備について」	pp.35-48	○
04	杉崎茂樹	「坂戸市終塚とその土橋をめぐって」	pp.49-56	○
05	水口由紀子	「いわゆる『踊る埴輪』の戦前の絵葉書から」	pp.57-64	○
06	西田真吾 小峰俊章	「出土遺物を利用した出張授業の実践」	pp.65-72	○
07	向井隆盛	「博物館における文化体験学習の性格—さきたま古代体験の実践を手掛かりにして—」	pp.73-76	○

■紀要 第9号 (2016年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	倉澤麻由子	「旧長瀬総合博物館からの寄贈資料—富山県氷見市朝日貝塚の骨角器—」	pp.1-10	○
02	水口由紀子	「〈資料紹介〉 根岸武香と利仁神社経塚」	pp.11-22	○
03	向井隆盛	「小学校社会科第 6 学年の学習におけるさきたま史跡の博物館の役割」	pp.23-34	○
04	井上尚明	「埼玉古墳群をめぐる研究者たち」	pp.35-38	○

■紀要 第10号 (2017年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	石坂俊郎	「屋内祭祀の舞台—赤砂・小砂利の『祭壇状遺構』—	pp.1-12	○
02	中井 歩	「前組羽根倉遺跡出土珠文鏡について」	pp.13-20	○
03	関 義則	「埼玉古墳群の成立」	pp.21-42	○
04	山田琴子 瀧瀬芳之 荒木臣紀 宮田将寛	「将軍山古墳の新発見資料について」	pp.43-66	○
05	高久健二 佐藤康二	「伝・将軍山古墳出土の朝鮮三国時代加耶系陶質土器について— 明治大学博物館所蔵資料の紹介—」	pp.67-78	○
06	末木啓介	「カマドの支脚利用にみられる集落内のグループ—古墳時代後 期の埼玉県内の遺跡を中心に—」	pp.79-110	○
07	鈴木秀雄	「《事業報告》企画展「埼玉の古墳 1—比企・入間—」の開催に ついて」	pp.111-114	○
08	向井隆盛	「中学校社会科歴史的分野の学習におけるさきたま史跡の博物 館の役割」	pp.115-120	○
09	石田智美 頓所詩織	「博物館における学芸員育成の実践—博物館実習と子供講座か らの考察—」	pp.121-126	○
10	浅野晴樹	「武士の本拠の成立について—考古学的資料をとおして—」	pp.127-142	○
11	水口由紀子	「平拓寺跡出土経筒の銘文について」	pp.143-154	○

■紀要 第11号 (2018年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	石坂俊郎	「屋内祭祀の舞台(2) —ムラの中の祭壇付住居—」	pp.1-14	○
02	利根川章彦	「前方後方墳墓・方形墓群の構成に関する一様相—本庄市域周辺の場合—」	pp.15-30	○
03	中井 歩	「古墳時代前期における小型鏡の系譜と変遷—重圈文鏡・珠文鏡を対象として—」	pp.31-50	○
04	山田琴子 肥沼隆弘	「小鹿野町小鹿野小学校出土の鉄銚について」	pp.51-60	○
05	関 義則	「旧岡部町四十塚古墳出土の鈴杏葉」	pp61-74	○
06	野中 仁	「旧長瀨綜合博物館所蔵金属製遺物目録」	pp75-88	○
07	水口由紀子	「旧長瀨綜合博物館から寄贈された和同開珎について」	89-98	○
08	西口正純	「埼玉古墳群の保存と整備」	pp99-102	○
09	中山浩彦	「《事業報告》平成29年度企画展「埼玉の古墳2—秩父・児玉・大里—」の開催について」	pp103-108	○
10	野中 仁	「さきたま史跡の博物館特別収蔵庫の資料保存環境について」	pp109-114	○
11	佐々島忠重 向井隆盛	「博学連携資料「さきたまのネタ」の作成と活用・実践事例」	pp115-142	○
12	渡邊智大	「体験工房「まが玉づくり」事業におけるワークシートの開発」	pp143-150	○
13	加藤光男	「『新編武蔵風土記稿』に記載される戦国時代の地侍たちとその子孫の動向」	pp151-166	○

■紀要 第12号 (2019年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	石坂俊郎	「屋内祭祀の舞台(3) — 「貯蔵穴」の諸相—」	pp.1-24	○
02	中井 歩	「《速報》二子山古墳墳丘造出しの調査について—平成29年度発掘調査成果を中心として—」	pp.25-42	○
03	青笹基史	「秩父郡小鹿野町下塚居古墳副葬矢鏃の検討」	pp.43-62	○
04	齋藤 努 中井 歩	「埼玉県内出土銅鏡の鉛同位体比分析について」	pp.63-78	○
05	野中 仁 鈴木秀雄 宮原正樹	「長瀬総合博物館旧蔵具指定文化財「古瓦」目録」	pp.79-94	○
06	中山浩彦	「《事業報告》企画展「埼玉の古墳3—北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾—」の開催について」	pp.95-100	○
07	大谷直紀	「さきたまの博学連携」	pp101-108	○
08	金田彩香	「博物館における特色を活かした事業—埼玉古墳群での来館者向け事業を中心に—」	pp.109-114	○
09	加藤光男	「『新編武蔵風土記稿』に記載される戦国時代の地侍たちとその子孫の動向2」	pp.115-130	○
10	諸岡 勝	「比企郡川島町の『古式板碑』」	pp.152-131	○

■紀要 第13号 (2020年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	村田章人	「記念物100年と先史考古学 — 史跡保存と1910年代の考古学—」	pp.1-14	
02	石坂俊郎	「屋内祭祀の舞台(4) — 赤砂・小砂利の「祭壇状遺構」再論—」	pp.14-38	
03	ナワビ矢麻	「《速報》平成30年度奥の山古墳発掘調査成果報告 — 外堀南西隅角部の発掘調査について—」	pp.39-56	
04	ナワビ矢麻	「UAVを用いた埼玉古墳群の測量について — 古墳群の記録の一手法として—」	pp.57-66	
05	青笹基史	「伝栃木県出土騎馬人物埴輪片の検討 — 実測・写真・SfM/MVSを用いた三次元計測による資料化—」	pp.67-76	
06	青笹基史	「秩父郡小鹿野町下塚居古墳遺構の検討」	pp.77-95	
07	野中 仁 山田琴子	「旧長瀬総合博物館所蔵玉類目録」	pp.96-108	
08	栗岡真理子	「埼玉古墳群史跡指定80周年・稲荷山古墳50周年・鉄剣銘文発見40周年紀年講演会「さきたま あれから これから」白石太一郎氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)講演「埼玉古墳群とヤマト王権—稲荷山古墳鉄剣銘文が語るもの」記録」	pp.109-131	
09	森 淳史	「博物館の体験活動」	pp.132-148	
10	川又奈津紀	「事業報告 さきたま史跡の博物館における史跡探訪」	pp.149-154	